

こえに だして よみましょう。

かにのしょうばい④

新美南吉  
にいみなんきち

ところが、蟹かにというものは、あまり大きなものでは  
ありません。蟹かにとくらべたら、たぬきはとんでも  
なく大きなものがあります。その上たぬきとい  
うものは、からだじゅうが毛けむくじやらであります。  
ですから仕事しごとはなかなかはかどりません。蟹かには口くち  
から泡あわをふいていっしょうけんめいはさ  
みをつかいました。そして三日みっかかかって、  
やっとのこと仕事しごとはおわりました。



「じゃ、やくそくだから、わたしのお父とうさんの毛けも  
かってくれたまえ。」

「お父とうさんというのは、どのくらい大おおきなかたです  
か。」

「あの山やまくらいあるかね。」